

## 応援奨学生に関するアンケート結果（令和元年度）

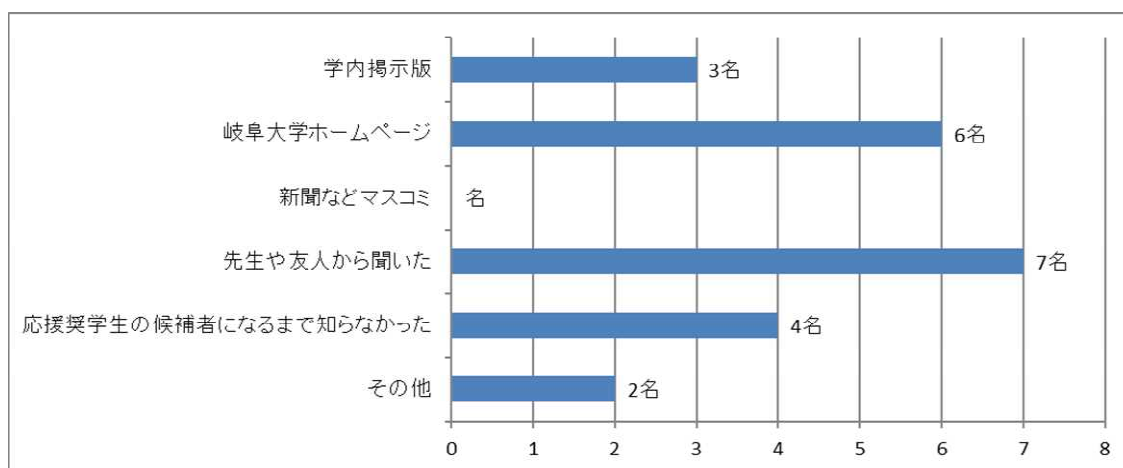
「応援奨学生」制度は、平成22年度から学生支援事業として、人物及び学業成績において優れ、他の学生の模範となるような学生に奨学金を支給することで、学業を応援し、優れた人材を育成することを目的に開始されました。

今回は、令和元年度に応援奨学生として奨学金を受給された25名の方を対象に、今後の参考とするために実施したアンケート結果です。

回答者数22名

### 1 「岐阜大学基金」の広報についてお伺いします。

「岐阜大学基金」についてはどのような形でお知りになりましたか？

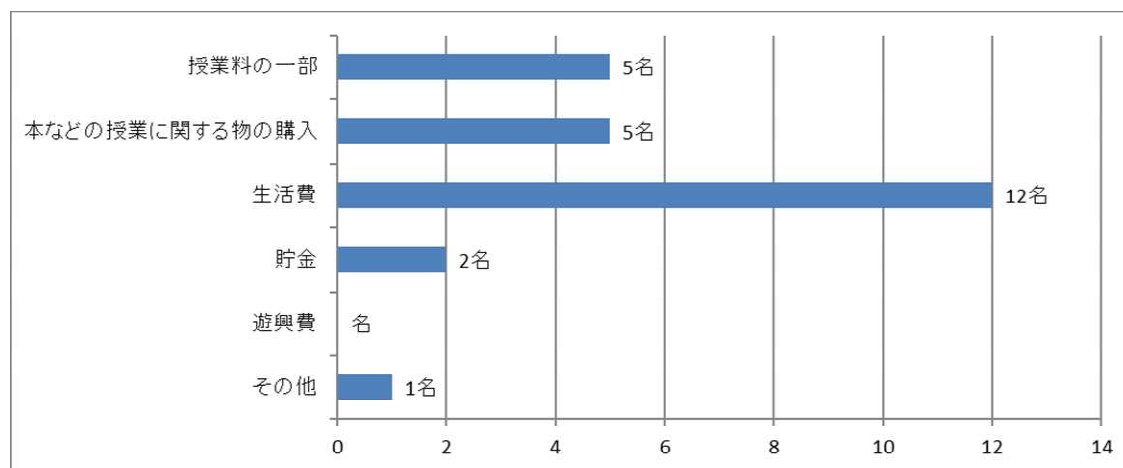


こういった告知形式を取れば、学生への認知を広めることができると思われますか？

- 入学時・前期・後期のガイダンス時に説明・告知を行う。
- メールで告知を行う。
- aimsで告知を行う。
- それぞれの学科の掲示板上で告知を行う。
- 教員からの推薦の制度をとる。
- 活動内容をSNSなどで積極的に行う。

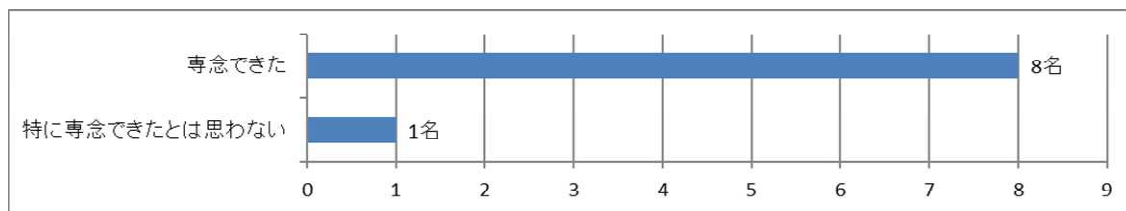
### 2 奨学金の使途や学業への影響についてお伺いします。

#### (1) 主な使途について



- その他 予備校の学費。

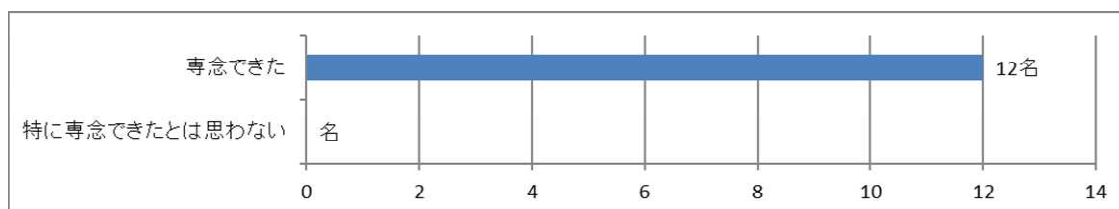
(2) 授業料や授業に関する物の購入に使用することで、給付前よりも学業に専念することができましたか？



専念できた理由

- 高価であるため購入を見送っていた演習書や参考書を購入することができ、より自分の専門分野について深く学ぶことができた。
- 学習に使うお金を確保することができ、様々な学びにつながった。
- 専門書を購入することができ、論文執筆の助けになった。
- 購入するか迷う専門書等について躊躇なく購入できるようになり、図書館にはまだ収蔵されていない最新の本を読むことが増え、研究に役立っている。
- スペックの良いパソコンを購入し、データ解析や資料作成等に役立っている。

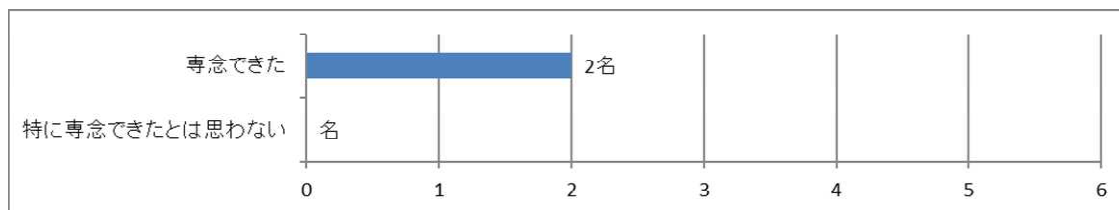
(3) 生活費に使用することで、給付前よりも学業に専念することができましたか？



専念できた理由

- アルバイトを減らし、教員採用試験や院試の勉強に時間をあてられた。
- アルバイトを減らして研究に専念することができた
- 研究室所属になり、アルバイト収入が減少したが、同程度の生活レベルを維持する事ができた

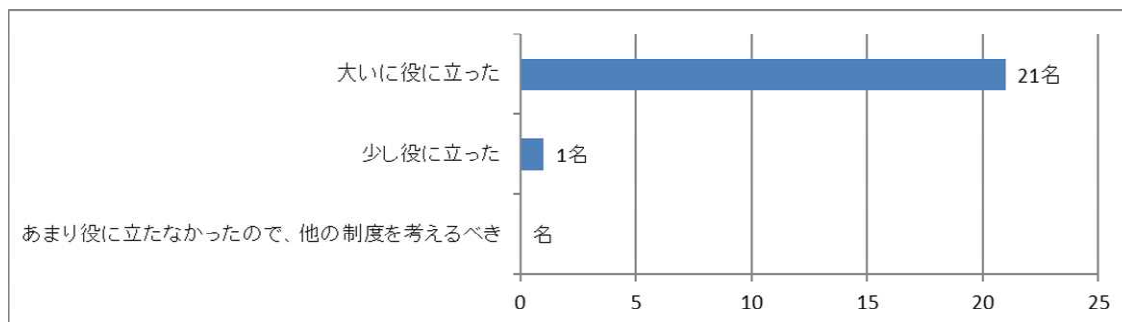
(4) 学業以外の用途に使用されましたが、給付前よりも学業に専念することができましたか？



専念できた理由

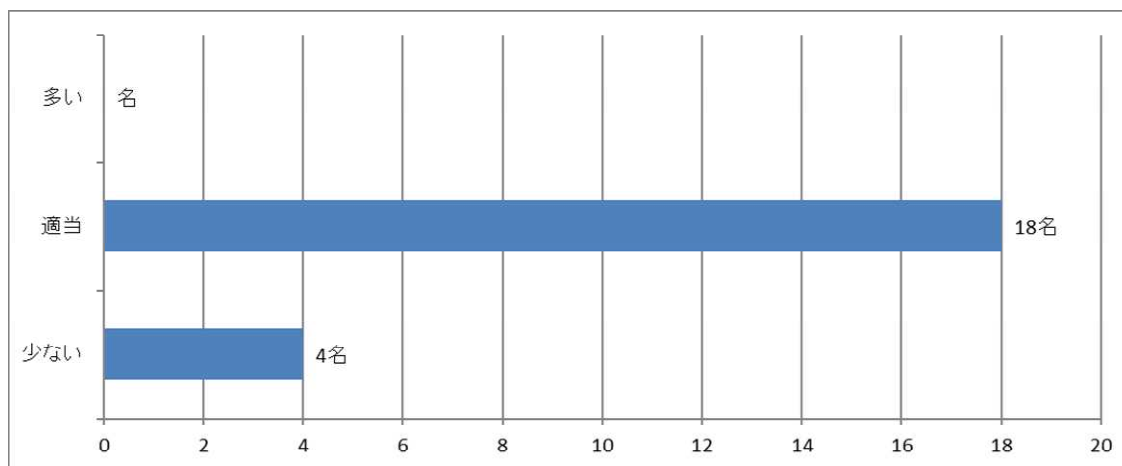
- 実習や国試勉強などでバイトをする時間が制限されてしまったが、給付を受け貯金をする必要となるとき（学業に関するものであったり、息抜きの遊びであったり）にお金を使うため、精神的、時間的に余裕ができ、これまで以上に学業に専念することができた。
- 金銭的な悩みが緩和し、より学業へ専念できた。

3 奨学金の給付は、大学生生活を有意義に過ごすために役立ったと思いますか？



4 奨学金の給付額についてお伺いします。

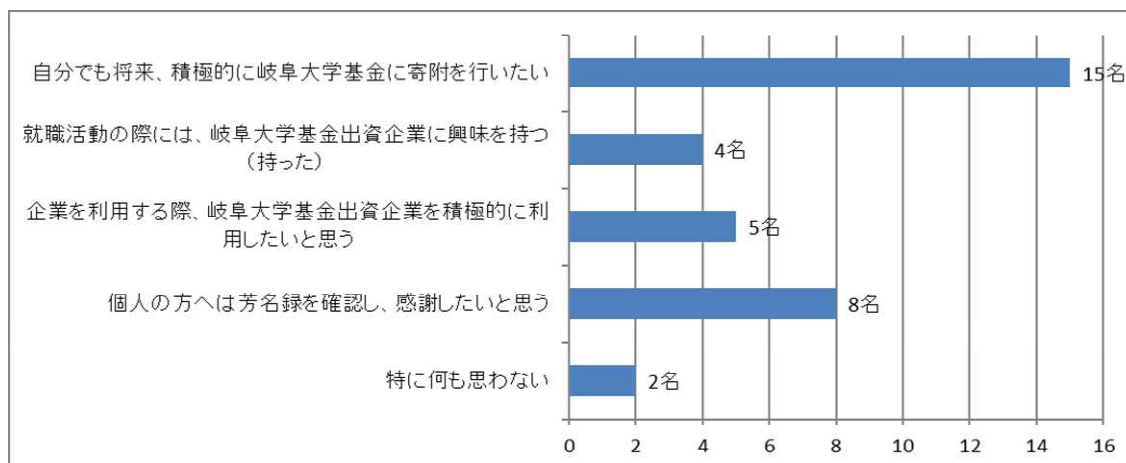
学部学生	月額 30,000円
大学院研究科修士課程（博士前期課程、教職大学院）	月額 30,000円
大学院研究科博士課程（博士後期課程）	月額 50,000円



少ないと回答した内訳（具体的な金額）

4.5万円/月	1名	大学院研究科
5万円/月	2名	学部学生
10万円/月	1名	大学院研究科

5 「岐阜大学基金」は多くの団体、個人、本学の卒業生や教職員からの寄附金で成り立っています。このことについてどう思われますか？（複数回答可）



## 6 応援奨学生の給付を受けたことについての感想をお聞かせください。(自由記述)

- ・ 応援奨学生に選んでいただけたことが自信につながり、これまで以上に前向きに勉学や部活動、地域活動に取り組むことができた1年間であったと感じております。支えてくださるすべての方に感謝し、今後も努力を続けてまいります。本当に、ありがとうございました。
- ・ 応援奨学生に選ばれたときは大変嬉しく、また給付を受けたことで、金銭的にも時間的にも精神的にも余裕ができ、学業にこれまで以上に励むことができました。本当にありがとうございました。
- ・ 学部4年生で、教員採用試験や院試、卒論など、やることがたくさんある中、当奨学金には大いに助けられた。当制度や、寄付をしてくださった方々には深く感謝致します。
- ・ とても、この応援奨学生制度に感謝しております。アルバイトや金銭面について、まったく心配せずに、自分の勉強や岐阜大学に来ている留学生の支援のために時間を使いました。それによって、国際交流ができ、また岐阜大学に来ている留学生と密にかかわることができ、英語力も伸ばすことができました。今後もこの制度を続けてほしいです。
- ・ 高価なため、なかなか購入することができなかった参考書および演習書を購入することができ、より勉学に励むことができました。また、生活費をある程度まかなうことができ、家族の家計への負担も減らすことができました。これにより精神的な余裕ができ、これまで以上に学業に専念することができました。ありがとうございました。
- ・ 応援奨学生にはこれで2期目となりましたが、とてもお世話になりました。学業に集中させていただくことができ、とても感謝しています。
- ・ 月に3万円の給付はとてもありがたかったです。支援してくださっている方々に感謝しております。
- ・ 給付をいただけたことで、学業に専念することができました。岐阜県に貢献できる教師となることで、少しずつこの恩を返していきたいと考えます。ありがとうございました。
- ・ 受給される1年間、経済的の面で本当に余裕ができ、アルバイトの時間を減らし、学業と就職にさらに集中することができ、心から本当に感謝しております。これからは社会に出て、感謝の気持ちを持ちながら、頑張っていきます。
- ・ 給付金によって、アルバイトの時間を減らして研究に充てることができました。金銭面での不安が減り、精神的にも楽になり、学業に専念することができました。とても感謝しています。
- ・ 応援奨学金のおかげで学業により専念することができました。岐阜大学基金の制度や出資していただいている方々に感謝し、今後貢献できるように一層努力していきたいと思えます。
- ・ 応援奨学金を頂き、アルバイトの時間を半分程度減らすことで、自分の研究に励むことができたと思います。経済的な面だけではなく、応援奨学生として採用されたこと何により誇りに思っています。これからも岐阜大学の学生として頑張っていきたいです。卒業後も岐阜大学に育てられたことを忘れず、研究の道を歩み、患者さんに貢献できる研究者の一人になろうと思っています。応援、ありがとうございました。心から感謝申し上げます。
- ・ 応援奨学金を給付して頂いたため、育児と学業を両立することができました。大変感謝しております。ありがとうございました。一方で、同様に博士課程の学生でありながら、金銭的な支援がなく、将来の生活への不安から学業に専念できない学生や、博士課程への進学を諦める学生をたくさん見てきました。そのような、学びたくても学べない学生を少しでも減らせるよう、支援策を講じていただければ、今後の岐阜大学のさらなる発展にもつながると思います。
- ・ 応援奨学金のおかげで、研究活動に集中して取り組むことができ成果をあげることができました。また、この奨学金をもとにして研究室の後輩との勉強会を開くことができ、研究室の発展に寄与でき、大変感謝しています。